

2007年5月31日

チャイナ・リアル・ウォッチ

受益者の皆様へ

安田投信投資顧問株式会社

中国株式市場の下落について

5月30日の中国及び香港株式市場は、上海総合株価指数で前日比281.84ポイント安(▲6.50%)の4,053.09ポイント、香港市場のH株指数は同212.01ポイント安(▲2.00%)の10,403.44ポイント、レッドチップ指数は50.37ポイント安(▲1.41%)の3,520.33ポイントと特に上海総合株価指数は本年に入って最大となる大幅な下落となりました。株式相場の過熱抑制を目指し、中国政府が証券取引にかかる印紙税を3倍に引き上げたことが、個人投資家に嫌気されました。また、当局による更なる株式投資規制導入も懸念材料となりました。

なお、本日31日の上海総合株価指数は午前の引け値で、前日比45.63ポイント安(▲1.13%)の4,007.46ポイント、H株指数は同241.91ポイント高(+2.33%)の10,645.35ポイント、レッドチップ指数は60.35ポイント高(+1.71%)の3,580.68ポイントとなっております。

中国政府は過熱気味の経済成長を抑えるべく、金融引き締めを行って来ました。中国人民銀行(中央銀行)は5月18日に預金準備率0.5%の引き上げ(年初来5回目)、1年物貸出基準金利0.18%の引き上げ(年初来2回目)を発表しました。このように当局が引き締めを行っているにも係らず、上海総合株価指数は29日に4,334.92ポイントと初めて4,300台を突破し、3日連続で過去最高値を更新しました(年初来で62.02%の上昇)。当局が更なる金融引き締めを行うのではないかという懸念や、利食い売りが出やすい状況にあったことも、昨日の大きな下落の要因となりました。

今後の見通しと致しまして、中国株式市場は、2月末には急上昇で株価に割高感が出ていた理由により調整していたものの、一時的な調整で今月29日には年初来62%強まで上昇、短期的には不安定な動きを示すこともあろうかと思われませんが、ファンダメンタルに変化はないと見ており、中長期的には株式市場も経済成長と同様に堅調に成長するものと思われれます。政府は政策の中心として健全な資本市場の育成を図っており、株式市場の長期的展望は明るいものと考えております。

以上

*当資料に記載されているコメント、投資環境見通しについては、過去の実績等に基づいたもので、将来の投資成果等を保証するものではありません。

*当資料はご参考資料として、安田投信投資顧問が作成したものであり、証券取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託の取得の申し込みにあたっては、販売会社を通じてあらかじめまたは同時に投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

*当資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは、完全性について明示、黙示に関らずこれを表明あるいは保証するものではありません。